

令和5年度伊達市事務事業評価シート

1 事務事業について

事務事業名 (予算書上事業名)	08	だて歴史文化ミュージアム運営事業 ((だて歴史文化ミュージアム運営管理委託料、特別展等開催経費))						作成日	令和5年8月10日
基本目標	02	豊かな心と人を育むまちづくり						所管部署	教育部
分野別施策	05	歴史・文化芸術を生かしたまちづくり							生涯学習課
必要な取組	03	文化財の保存と積極的活用						事業開始年度	R1
補助/単独	補助	経費区分	政策	新規/継続	継続	重点施策	非該当	事業終了(予定)年度	
会計区分	01	一般会計			SDG s の取組	①	04	質の高い教育をみんなに	
款	09	教育費				②			
項	04	社会教育費				③			
予算科目	目	06	だて歴史文化ミュージアム費			個別計画・根拠法令 博物館法、文化財保護法、第2次伊達市教育振興基本計画			
対象	だて歴史文化ミュージアム来館者				目的	だて歴史文化ミュージアムが所蔵する文化財に適切な保存・管理及び文化資源の公開活用による教育振興を目的とする。			
概要	施設の維持管理を指定管理者に委託するとともに、特別展・企画展の開催や文化財を活用した教育普及活動等を実施する。								

2 投入経費の実績と計画

単位：千円

投入経費	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	(決算額)	(決算額)	(決算額)	(予算額)	(計画値)	(計画値)
直接事業費(A)	40,302	51,691	64,022	60,271	59,223	57,297
国・道支出金	650	14,008	8,427	915		
地方債	0	0	0	0		
その他	2,919	2,469	47	41		
一般財源	36,733	35,214	55,548	59,315	59,223	57,297
最終予算額(補正予算を含む)	44,209	56,114	64,734	60,271		
執行率	91.2%	92.1%	98.9%	100.0%		
参考人件費(B)	22,403	21,508	4,572	4,752	4,752	4,752
うち一般職員	18,077	17,154	4,572	4,752	4,752	4,752
投入人員[人]	3.20	3.00	0.80	0.80	0.80	0.80
うち会計年度任用職員	4,326	4,354	0	0	0	0
投入人員[人]	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
投入経費合計(C = A + B)	62,705	73,199	68,594	65,023	63,975	62,049
人件費比率(D = B / C)	35.7%	29.4%	6.7%	7.3%	7.4%	7.7%

3 事務事業に対する指標の実績値と目標値

活動指標(アウトプット) 【事業の実施結果】	単位	R2	R3	R4	R4	R5	R6	R7
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
① 日平均入館者数	人/日	31.1	29.2	29.4	29.8	34.0	35.8	37.6
②								
③								
指標の設定根拠 (指標の算式)		① だて歴史文化ミュージアム入館者数/開館日数						
		②						
		③						
成果指標(アウトカム) 【事業実施によって得られた効果】	単位	R2	R3	R4	R4	R5	R6	R7
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
① 来館者満足度	%	82.3	81.6	80.0	80.6	80.0	82.0	84.0
②								
③								
指標の設定根拠 (指標の算式)		① 来館者へのアンケートによる「満足」回答割合						
		②						
		③						

4 所管課による観点別評価(一次評価)

観点	評価	評価の理由
妥当性	3	だて歴史文化ミュージアムが所蔵する文化財の保存・管理は市が直接行い、施設の維持管理は指定管理者制度を導入している。 さらに、市が所有する文化資源を活用して文化・教育振興を図るため、特別展・企画展等の開催及び教育普及活動等を実施する。 3: 妥当である 2: 検討の余地がある 1: 改善が必要
有効性	2	企画展・特別展の開催により一定の成果を得ているが、入館者数増及び満足度向上に向けて、来館者アンケート等によって市民のニーズを把握して展示に反映させる等、さらなる取り組みが必要である。 また、企画展等の実施は、総合計画の施策0205「歴史・文化芸術を生かしたまちづくり」にある「文化財の保存と積極的活用」そのものであり、今後も取り組みを進める。 3: 単年度及び中長期の目標値を達成可能 2: 単年度のみ達成 1: 達成できない
効率性	3	展示や市所有文化財の保存・管理については市が直接行っているが、施設の維持管理等については指定管理者制度を導入しており、市が直営する場合よりもコストが抑えられており、文化財の適切な保存・管理と施設管理は効率的に行われている。 3: 適正である 2: 検討の余地がある 1: 改善が必要

5 所管課による事業の方向性評価（一次評価）

【成果・コストからみる事業の方向性】

成果	拡充	維持	縮小	休廃止	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コスト	拡大	維持	縮小	皆減	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所管課による 事業の方向性評価	B
--------------------	----------

【事業の方向性評価の基準】

A【拡充】	成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡充・充実すべきもの
B【維持】	事業の対象・目標・内容等が適切で、事業の実施を維持すべきもの
C【要改善】	事業の対象・目標・内容等が適切でなく、見直し(縮小)の必要があるもの
D【完了または廃止】	事業完了または事業の廃止を検討するもの

事業の方向性評価の理由

博物館の使命である資料の保存・管理及び教育普及事業としての展示活動の継続的な実施が必要であることから、今後も同様の事業を実施すべきと考えている。

【事業の課題、改善策】

事業の課題やそれに対する具体的な改善策（次年度予算による取組、コスト削減方法 等）

課題	前年度（R4）の事業実施の中で表れた課題	
	だて歴史文化ミュージアムの来館者数増加と満足度向上のために、市民の関心を呼ぶ展示企画や展示方法等の立案が必要である。また、市が直接企画・運営する2階の展示と指定管理者が1階で実施する自主事業展示との連携を図ることによって、館全体の一体的な活用を進める必要がある。	
改善策	課題に対する今年度（R5）の改善策	課題に対する次年度（R6）以降の改善策
	市が担当する展示企画を早期立案し、指定管理者が実施する自主事業との情報共有及び連携を図る。	来館者の動向やアンケート結果を分析することで市民のニーズを把握し、展示計画に反映させる。
効果等	改善により見込まれる効果、負担を求める場合の住民に対するフォロー	
	市民のニーズを展示に反映させるとともに、市の事業と指定管理者の自主事業を連動させることで、館全体の一体的な活用が図られる。	
実施結果	今年度の改善策の実施結果	次年度(R6)以降の事業実施に向けた改善策の見直し
	通年開館の実施および1階の無料事業実施により、来館者増につなげることができた。	さらなる来館者増と満足度向上に向けた展示内容・運営の検討、指定管理者との連携強化、博物館情報の発信に努めていく。

【事業の方向性評価の目安】

事業の方向性	拡充			A,B	A	A,C
	維持			B,C	B	C
	縮小			B,C	C	C,D
	休廃止		D			
	完了	D				
		完了	皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

6 事務事業評価会議による二次評価と今後の方向性

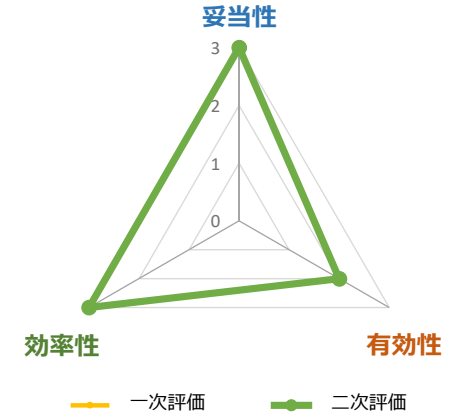
【観点別評価】

観点	妥当性	有効性	効率性
一次評価	3	2	3
二次評価	3	2	3

【観点別評価に対するコメント】

妥当性	市の関与または実施主体は妥当である。また、対象（受益者）や目的についても妥当である。
有効性	成果指標については、概ね妥当である。また、上位施策が掲げる目標には直接的に寄与している。
効率性	コスト全体に占める市の負担割合については適正である。

【観点別評価の一次・二次評価結果】



【事業の方向性に対する総合評価の目安】

事業の方向性	拡充			A,B	A	A,C
	維持			B,C	B	C
	縮小			B,C	C	C,D
	休廃止		D			
	完了	D				
		完了	皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

【成果・コストからみる事業の方向性】

成果	拡充	維持	縮小	休廃止	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コスト	拡大	維持	縮小	皆減	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事業の方向性に対する総合評価

B

【事業の方向性に対する総合評価の基準】

A【拡充】	成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡充・充実すべきもの
B【維持】	事業の対象・目標・内容等が適切で、事業の実施を維持すべきもの
C【要改善】	事業の対象・目標・内容等が適切でなく、見直し(縮小)の必要があるもの
D【完了または廃止】	事業完了または事業の廃止を検討するもの

【全体をととしての評価と今後の事務事業の方向性】

資料の保存・管理及び教育普及事業としての展示活動の実施により一定の成果が見られていますが、さらなる来館者数の増加と満足度向上に向けて、指定管理者と連携し、企画展・特別展の内容を工夫するほか、市内外への積極的な情報発信や通年オープンの検討に期待します。